

## 拠出金名: GEO拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				40,000千円	
国際機関等名	地球観測に関する政府間会合 (英文名称・略称) Group on Earth Observations(GEO)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	文部科学省研究開発局海洋地球課地球・環境科学技術推進室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千CHF)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	40,000	404		1CHF = 99円	0
平成19年度	40,000	425		1CHF = 94円	0
平成18年度	40,000	454		1CHF = 88円	0
当該拠出金の目的・用途等	事務局運営経費、会議の開催				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)	
	国名	金額 (千CHF)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 5,399,896CHF	
1位	EC	970	30.5	当該年度の支出 3,235,014CHF	
2位	米国	654	20.6	次年度への繰越 2,164,882CHF	
3位	日本	404	12.3	会計検査機関名	
4位	ドイツ	162	5.1	英国国立監査機関	
5位	オランダ	154	4.9		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
平成17年2月の第3回地球観測サミットで承認された全球地球観測システム(GEOSS)の立ち上げ段階から、我が国は米、欧州と共に主導的な役割を果たし、GEO執行委員国として積極的にGEOSSの推進に参画、現行作業計画への参加、データ構造委員会の共同議長派遣、GEO事務局に人材派遣等様々な形で貢献している。従って我が国の拠出金については応分の負担であり、2009年第6回本会合における報告において、我が国の拠出金はGEOSS推進のために適切に運用されていることを確認している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
事務局立ち上げから4年がたち、事務局運営も軌道にのり、より具体的なGEOSS推進を事務局が担っている。更なる機能強化のため、事務局長並びに事務局の業績指標の導入を行い第三者による客観的評価を取り入れ改善を行い高品質なサービスを提供することに務めている。					
邦人職員数	2人		当該機関全体の職員数	18人	
うち幹部以上	うち 0人		及び邦人職員が占める率	11%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。